

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪市

学校名

大阪市立市岡小学校

人権課題

子ども

対象学年・
取り扱った教科等

6年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- いじめや差別が発生する要因が、同一性・均一性集団の中で起こる「異質なものを」排除しようという感覚で、それを為政者が利用してきたという歴史的経過を知る。
- 現在、どのような差別が存在するのかを知る。
- 差別をなくしていくためには、自ら何をすべきか考えることができるようにする。

実施した内容

- 絵本「も～お～ うしです」を通して学んだ同和問題から、子どもたちが疑問に感じ、学習カードに書いたことをもとにして差別発生メカニズムを考えるようにした。
- 同一性・均一性の中に異質なものがあつたときに感じる違和感から、いじめや差別が発生し、多数派が少数派をいじめる、差別するというメカニズムが存在することを知った。
- ほかに女性差別のように、長い歴史の中で、為政者が作ってきたものもあることを知った。
- 差別と闘うために必要なことを考えた。

工夫した点

- 同和問題の学習の最後に、学習カードにわかったことや感じたこと、疑問に思うことなどを書いたので、そこから学習をはじめ自分たちにつながっている問題であることを感じ取ることができるようにした。
- あえて、とるべき行動を押し付けることのないようにした。

他教科との
関連

特別の教科「道徳」で、集団について考える

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪市

学校名

大阪市立市岡小学校

人権課題

障がい者

対象学年・
取り扱った教科等

4年・総合的な学習の時間

目標・人権教
育のねらい

- 日本とは民族や風土、文化などが違う国のことを主体的に学ぶことができるようにする。
- 外国の人々と交流するために自分たちのできることに精いっぱい取り組むことができるようにする。
- 障がい者の素晴らしいプレーを見て、共生の意識を高めることができるようにする。
- 活動を通して、達成感や自己有用感をもつことができるようにする。

実施した内容

TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されたが、本校ではホストタウンの取り組みとして、パラリンピックに出場する、オーストラリア女子車いすバスケットボールチームと交流した。まず、オーストラリアについて調べ、C-NETからオーストラリアについての授業を受けた。次に、過去のオーストラリアチームの試合を見て、車いすバスケットボールのことやチームのことを学んだ。チームの応援用の横断幕を4年生全員で作成し、応援メッセージを録画した。ビデオにより試合観戦をした後、オンラインでの交流会を開催した。（実施時期2021年6月～9月）

工夫した点

TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック東京大会が、本校の4年生の児童にとって、素晴らしい交流の機会となるように、動物やスポーツ、食べ物など身近な話題からオーストラリアを知るようにした。
車いす体験を行い、移動の苦勞を体感したうえで車いすバスケットボールのプレーを見て、障がいがあってもそれを乗り越え、パラリンピックに出場する選手と交流する予定であったが、コロナ禍のため、体験活動が行えなかったため、映像などで補完した。

他教科との
関連

国語科・社会科

人権課題の外国人と障がい者を一体的に取り組んだ。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪市

学校名

大阪市立市岡小学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

6年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- 日本人の日常生活の中に、「牛」から作られたものが多く存在していることを知り、牛は「鳴き声以外捨てる場所がない」ということに気づくようにする。
- 被差別部落の人たちが、生活に欠かすことのできない「牛」を扱ってきたという歴史的事実を知る。
- 部落差別の不合理さを知り、自分たちが今後どのようにいろいろな差別と向き合うのか考える契機とする。

実施した内容

- 絵本「も～お～ うしです」を活用し、見開き2ページごとに見ていきながら、そこに描かれているものが何なのか、子どもたちが考えていくようにした。
- 最後のページの「ぜーんぶ うしです」の言葉から、食肉以外にも、自分たちの生活のほぼすべてに牛がかかわっていることを知るようにした。
- 牛がいろいろなものになるための最初の工程である、牛を「わる」業務をが歴史的に被差別部落の人たちによって行われてきた事実を知り、その人たちが差別されてきたという不合理さに気づくようにした。

工夫した点

- 本校の子どもたちにとって同和問題をこれまで学ぶ機会が少なかったため、まず、牛と人々との深いつながりを知ることから、差別の不合理さに気づくことができるようにした。
- 最後に、学習カードに7わかったことや感じたこと、疑問に思うことなどを書かせて、さらに「差別と人権」について学ぶことができるようにした。

他教科との
関連

社会科・江戸時代の人々の暮らし

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪市

学校名

大阪市立市岡小学校

人権課題

外国人

対象学年・
取り扱った教科等

4年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- 日本とは民族や風土、文化などが違う国のことを主体的に学ぶことができるようにする。
- 外国の人々と交流するために自分たちのできることに精いっぱい取り組むことができるようにする。
- 障がい者の素晴らしいプレーを見て、共生の意識を高めることができるようにする。
- 活動を通して、達成感や自己有用感をもつことができるようにする。

実施した内容

TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されたが、本校ではホストタウンの取り組みとして、パラリンピックに出場する、オーストラリア女子車いすバスケットボールチームと交流した。まず、オーストラリアについて調べ、C-NETからオーストラリアについての授業を受けた。次に、過去のオーストラリアチームの試合を見て、車いすバスケットボールのことやチームのことを学んだ。チームの応援用の横断幕を4年生全員で作成し、応援メッセージを録画した。ビデオにより試合観戦をした後、オンラインでの交流会を開催した。（実施時期2021年6月～9月）

工夫した点

TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック東京大会が、本校の4年生の児童にとって、素晴らしい交流の機会となるように、動物やスポーツ、食べ物など身近な話題からオーストラリアを知るようにした。
車いす体験を行い、移動の苦労を体感したうえで車いすバスケットボールのプレーを見て、障がいがあってもそれを乗り越え、パラリンピックに出場する選手と交流する予定であったが、コロナ禍のため、体験活動が行えなかったため、映像などで補完した。

他教科との
関連

国語科・社会科

人権課題の外国人と障がい者を一体的に取り組んだ。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪市

学校名

大阪市立市岡小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

5年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- SNSやインターネットを通して、広くつながっている子どもたちが、正しい人権感覚をもって、スマホやタブレット、パソコンなどを活用することができるようにする。

実施した内容

- 「子供とネットを考える会」代表の山口あゆみさんを講師に迎えて学習した。
- 子どもたちが陥りやすい問題をわかりやすく提示しながら、ネットとの正しい付き合い方を学ぶようにした。
- ネットもリアルも、大切なのは他者に対する「思いやり」であることを学んだ。

工夫した点

- 実際に、学年内で子ども同士の人権侵害ともいえる事象が起きているので、個人名などは出さずに、事象を提示した。
- 学習後に、講師に直接尋ねたいことがある人には、個別に時間を設定した。
- SNSを使ったトラブルの低年齢化が急速に進んでいるので、取り組み内容は、すべての保護者に知らせた。

他教科との
関連

特別の教科「道徳」や学級活動